

令和7年度 第1回大野市都市計画審議会 結果の概要

○日時：令和7年11月14日（金）

13:30～14:20

○場所：結とぴあ 3階 302号室

1 開会

2 会長選出

会長に野嶋委員を選出

○ 委員・事務局紹介、委員定足確認

◆出席委員 10名

野嶋委員、田中委員、帰山委員、澤田委員、廣瀬委員、
猪嶋委員、砂子委員、合田委員、日下委員、鳥山委員の代理・室田氏

◆欠席委員 2名

石田委員、永井委員

3 議事録署名人選出

帰山委員と澤田委員を選出

4 付議事項

・大野都市計画下水道の変更について

委員意見等 削減する区域の地元説明と合意はもう得ていますか。

説明 地元説明会を実施しました。汚水処理方法の希望については、地元によりアンケートが行われ、その結果から、合併処理浄化槽処理区に変更するというご意見が多く、削減区域としています。

委員意見等 縦覧での意見はなかったのでしょうか。

説明 意見はありませんでした。

委員意見等	施設の維持管理の効率化から8農業集落排水を公共下水道へ統合するということですが、規模が大きくなると一か所の故障などで利用者への影響が大きくなると思いますが対応についてお聞きします。
説明	公共下水道は、比較的施設が新しく、耐震性能を備えています。また、処理場につきましては、耐震化に加え非常用発電機なども備えています。
委員意見等	下水道管の老朽化による陥没事故が全国で発生しています。大野市で整備している下水管の耐用年数や老朽化対策について教えてください。
説明	下水道管の耐用年数については、法定で50年とあります。老朽化については、管路調査を行い、その調査結果から計画的に更新することとしています。
委員意見等	浄化センターの改修中は受け入れができなくなるのでしょうか。
説明	改良後は受入施設のみの簡易な設備となり、複数ある既設の水槽などを活用し、運転しながら改修を行う予定です。

【結果 異存なしで答申】

5 その他

委員意見等	水洗化率が向上しない主な理由をどのように捉えていますか。
説明	全体的には、既に単独処理浄化槽が普及した後に公共下水道が整備されたことで、トイレが水洗で臭いなどの問題は解消されていますが、台所や風呂などの汚水は、河川や側溝などに流していることがあります。環境を守るという意識が低いことのほかにも様々な理由により公共下水道への接続が向上しないものと捉えています。
委員意見等	地元行政区でも環境意識の向上に協力できることがあれば、協力したいと考えています。

6 閉会

以上